令和8年2月24日

２月２４日(火)ＳＰＳ認証式

セーフティプロモーションスクールに認証されました

2026年２月２４日(火)１０：４０～セーフティプロモーションスクール認証式が本校体育館でありました。

日本SPS協議会理事長　藤田大輔様、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課　安全教育推進室室長補佐　合田遼様、葛城市教育委員会教育長　椿本剛也様、本校学校運営協議会会長　岡島久子様、学校・地域パートナーシップ事業コーディネーター　石井康友様、新庄北幼・小ＰＴＡ会長　鈴木雅晴様をお招きし、盛大に行われました。

セーフティプロモーションスクール(ＳＰＳ)とは、生活・災害・交通安全の推進を目的とし、組織的・継続的に学校安全に取り組む学校を認証する制度です。７つの指標（組織、方略、計画、実践、評価、改善、共有）に基づき、地域や保護者と連携して安全な環境づくりを実践しています。

2001年の大阪教育大学附属池田小学校の事件を教訓に、学校独自の安全計画に基づき、主体的に安全な環境を創出することが目的です。

日本セーフティプロモーションスクール協議会(事務局：大阪教育大学)が認証を行い、認証期間は３年間で、３年ごとに再認証を受けて安全対策を向上させる必要があります。

１．日本SPS協議会理事長挨拶

▲まず初めに、SPS協議会理事長　藤田大輔様より、ご挨拶をいただきました。

２．協定書締結

▲藤田理事長と中川校長がそれぞれ協定書にサインを行い、本校がＳＰＳとして認証されました。

３．SPS認証盾および認証旗贈呈

▲本校児童代表が認証盾と認証旗を藤田理事長よりいただき、全校児童に披露しました。

４．文部科学省 総合教育政策局
安全教育推進室長祝辞

▲文部科学省 総合教育政策局 安全教育推進室長補佐　合田　遼様より祝辞をいただきました。

５．代表児童生徒による取組の発表
　　ＳＰＳ認証式　児童代表挨拶

　私たち新庄北小学校は、自分たちが安全で安心して学校生活を送れるように、学校目標である「自分から」をもとに、今年度様々な取り組みをして参りました。
　学校のきまりは、守るべきものであると分かってはいるけれど、それを実行するのは簡単なことではありませんでした。
　そこで、生活委員会を中心に「学校安全プロジェクト　GAP」を立ち上げました。廊下の中央にラインテープを貼り右側通行を意識できるようにしたことや廊下歩行ができたらGAPシールを貯めて歩く意欲を高めたもの、廊下に安全標語を貼ったペットボトルを各学級が配置し、「安全を守ろう」と全校で呼びかけあうものなど全校児童が視覚的に安全を意識することで「自分から」学校のきまりを守れるようになっていきました。
　３月には、各学級から学校安全エージェントを選出し、休み時間の見守り・声かけを行います。児童を中心とした学校安全プロジェクトはこれからも続きます。

　また、今年度は、学校だけではなく家庭での安全についても考えました。６年生は、１学期に大学の先生による「スマホ安全教室講座」を受けました。そして学んだことをもとに、各学年にあわせた資料「スマタブネットハンドブック」を作成し、全校児童へ発表を行いました。スマ-トフォンやタブレット、インターネットの危険性やアプリには年齢制限があること、フィルタリングの重要性などグラフや写真を使って分かりやすく伝え、家庭で必要なルールを考えるきっかけづくりを行うことができました。安全で安心してスマホやタブレット、インターネットを活用していけるように意識しています。
　どんなことにおいても安全が第一です。実際この取り組みでろう下を走っている人をあまり見かけなくなりました。何よりこの取り組みで一番大切なのは、みなさんが「自分から」意識して実行することです。
　この活動は終わりません。これからも「自分から」安全を意識していきましょう。
新庄北小学校児童代表　６年

６．学校長挨拶

学校長挨拶はこちら(新庄北小学校ホームページ「学校紹介」より)
↓
https://www.city.katsuragi.nara.jp/material/files/group/47/R7spsninshou.pdf

保護者・地域の皆様へ

　子どもたちの取組はもちろん、皆様のＰＴＡ立哨や安全を守るボランティア活動などが今回の認証につながったと思います。代表児童が言っていましたが、この活動は認証を受けたから終わりではなく、始まりです。
　今後とも、学校、地域、家庭(ＰＴＡ)が三位一体となって、子どもたちの安心・安全を守り、日本一楽しい学校になるように、ご理解、ご協力、ご支援のほど、よろしくお願い致します。

葛城市立新庄北小学校
校長　中　川　純　一